

# 令和3年度 稚内市企業アンケート調査報告書<概要版>

調査目的：令和5年度に向けた中小企業振興施策を検討するための基礎資料とするため

調査時期：令和3年10月25日（月）～令和3年11月12日（金）

対象範囲：稚内商工会議所 684 会員

調査方法：郵送、WEB

回収数：192 件（回収率 28.1%）

- ①「業種、資本金、従業員数などの企業データ」
- ②「企業の経営状況及び今後の方向性」
- ③「必要とする人材及び後継者・事業承継」
- ④「新たな設備・先端技術への関心度」
- ⑤「商店街空き店舗の活用」
- ⑥「中小企業振興基本条例及び各種支援制度の認知度」
- ⑦「中小企業施策における今後の重要度」

アンケート調査は、大きく区分すると次の7つの区分で調査を行った。

## 全体を通して見えた4つの課題

従業員の育成

従業員の確保

顧客の減少

原材料の確保

## 原因

人口の減少が主な原因。  
人材不足の解消や業務の効率化を図るためには、DX化の推進や先端設備等の導入が必要と考えるが、導入にかかる資金や知識等が不足している。

新型コロナウイルス感染症による影響で原材料費等の高騰による経費の増加、人流の減少による売上の減少が著しく伺える。

## 解決策

・情報発信の強化  
・設備投資に係る資金の調達を円滑に行えるよう、既存の制度資金の拡充を含め検討。

ウィズコロナ・アフターコロナを意識した支援方法の検討。